

第24回 在日コリアン人権啓発東京セミナー

主催:一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター(KMJ)

コロナウイルスの感染拡大、ロシアによるウクライナ侵攻、そして急激な円安とインフレなどにより社会不安がますます増大しています。このようなときに「差別が強化される」ことは歴史が証明しています。昨今、ウトロや韓国民団支部、そしてコリア国際学園への放火事件が発生するなど、在日コリアンの人権状況はついに命の危険に曝されるという危機的な状況にまで悪化しています。

このような状況を踏まえ、当セミナーでは在日コリアンをはじめとする外国人の歴史・現状・法的地位などを中心に据え、民族差別を解消し、真の共生・ダイバーシティ社会を構築することを目的とした講義を用意しました。多くの皆さまの受講をお待ちしております。

一 開 催 要 項 一

【日 程】

第1期 2022年 8月4日(木) 5日(金)

第2期 2022年 10月28日(金)

第3期 2023年 3月10日(金)

【会 場】

第1期 8/4(木) 貸会議室内海3階教室 8/5(金) 貸会議室内海2階教室

第2期 10/28(金) 貸会議室内海3階教室

東京都千代田区三崎町 3-6-15 東京学院ビル
TEL03-3261-0017 JR「水道橋駅」西口徒歩1分

【定 員】 60人

【参 加 費】 ・受講料 28,000円(全講義)

・聴講料 a 3,000円(1講義)

・聴講料 b 4,000円(講義④の上映とトーク)

・聴講料 c 7,000円(講義⑧のフィールドワーク)

*KMJ 会員の方は1割引です。

【お申込み方法】

7月29日(金)までに別紙申込用紙に必要事項をご記入の上、下記の申込先まで郵送又は、FAXにてお申し込み下さい。請求書をお送りさせていただきます。受講料(聴講料)につきましては、下記の銀行口座にお振り込み下さい。当日のお支払いもご対応させていただきます。領収書は、当日、資料と一緒にお渡しいたします。なお、当日は受付にてお名前をチェックさせていただくことで参加確認をさせていただきます。

☆お振り込み先

三菱UFJ銀行 生野支店 普通預金 3936599
名 義 一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター
理事長 仲尾宏



【第1期講座】

一日目（8/4）

講義① 在日コリアンは平和の使者である

講 師 ソン プ ジャ
宋 富 子さん（文化センターアリラン・副理事長）

一人芝居や講演活動を通じて、人を繋ぎ、高麗博物館や文化センターアリランの設立、運営に尽力されてこられた在日2世の宋富子さん。今の目標は韓国に高麗博物館を建設すること。そのために活動の拠点を韓国に移されます。その前に、コロナ禍で傷ついた今のこの時代に必要なことは何か。日本社会にメッセージを残していただきます。

【プロフィール】

奈良県で在日2世として生まれる。1972年子どもが通うキリスト教の保育園で、韓国名を名乗るように勧められ、本名の読み方も知らない自分にショックを受ける。日本と朝鮮半島の歴史を知ることにより、自己を回復。講演や一人芝居で人権活動が続ける。1991年日本人市民と在日で構成する「高麗博物館をつくる会」入会。2001年「高麗博物館」初代開館に就任。2007年「文化センター・アリラン」理事就任。自伝『愛するとき奇跡は創られる』出版。現在、高麗博物館名誉館長、文化センターアリラン副理事長。

講義② 「無国籍」問題から「国籍」について考える

講 師 CHEN Tien shi
陳 天 璽さん（早稲田大学国際学術院・教授）

グローバル化が進み、国境を越える人の移動が増える中、個人の国籍やアイデンティティはどんどん複雑化しています。そんな中、「無国籍者」として人生の大半を過ごしてきた陳さんから、「国とは何か」「国籍とは何か」、今の現代日本に突きつけられた問題についてお話しいたします。

【プロフィール】

神奈川県出身。中華民国国民として横浜の中華街で生まれる。日中国交正常化にともなう日台国交断絶により「無国籍」となる。現在は日本国籍を取得し、無国籍にかんする研究に従事。国立民族学博物館先端人類科学研究部准教授を経て、2013年に早稲田大学国際学術院准教授。2016年より同教授。近著に『無国籍と複数国籍—あなたは「ナニジン」ですか？』（光文社、2022）

講義③ 民族差別と排外に抗して—兵庫人権協会の闘い

講 師 ソン ミン ナム
孫 敏 男さん（兵庫在日外国人人人権協会・代表）

1970年の日立就職差別裁判闘争を契機に、全国に民族差別と闘う連絡協議会（民闘連）が結成されました。孫さんは日本で初めての外国籍地方公務員（兵庫県川西市）となり、以後、兵庫の民闘連で民族差別撤廃運動に携わってきました。兵庫の闘いの歴史と今についてお話しいたします。

【プロフィール】

1955年兵庫県尼崎市生まれ。尼崎工業高校から外国籍で日本で初めての地方公務員になる。以降、兵庫県下でさまざまな民族差別と闘い、2002年から兵庫在日外国人人人権協会の代表。

*終了後、孫敏男さんを囲んで交流会を予定しています。参加ご希望の方はお申し込み下さい。

講 義④ ドキュメンタリーの上映とトーク

[ドキュメンタリー映画上映] (58 分) 『ウトロ 家族の街』(2002 年)

[トーク] (60 分) ^{たけだ みちかず} 武田 倫和さん (監督)

[解 説] (45 分) 「ウトロの歴史と今」 高敬一 (KMJ 事務局長)

京都府宇治市のウトロ地区を撮った 20 年前のドキュメンタリー「ウトロ家族の街」を上映します。監督は当時京都大 4 年生だった武田倫和さん。ウトロには、最近「平和祈念館」ができましたが一方で、差別感情が動機とされる放火事件も起きました。

ウトロは戦時中、国策の飛行場建設で集められた朝鮮人労働者らと子孫のコミュニティーとなり、戦後行き場のない朝鮮人がそのまま暮らすこととなりました。しかし地権者が土地明け渡しを求め 1989 年に提訴。2000 年に住民敗訴が確定しました。映画は敗訴確定から 1 年、土地の明け渡しの強制執行を心配する住民らの、不安とそれでも前向きに生きようとする姿を描いています。映画と監督の話しからウトロを通じて、これからの共生社会について考えたいと思います。

【第 2 期講座】(10/28)

講 義⑤ 戦後日本の在日外国人政策

^{たなか ひろし}
講 師 田中 宏 さん (一橋大学・名誉教授)

在日コリアンをはじめとする在日外国人の人権問題を考えるにあたり、バイブル的な書籍『在日外国人』の著者であり、机上の研究者ではなく、実践に取り組む研究者である田中宏先生に、長年の取り組みを振り返っていただきながら、在日コリアンの人権問題の基礎的なテーマとして戦後日本の在日外国人政策について明らかにしていただきます。

【プロフィール】

1937 年生まれ、岡山県出身。一橋大学大学院経済学研究科修了（経済学修士）。愛知県立大、一橋大、龍谷大学を経て現在、一橋大名誉教授。専門は日本アジア関係史、ポスト植民地問題。著書に『日本のなかのアジア』（大和書房）、『在日外国人 第三版』（岩波書店）、『戦後 60 年を考える 補償裁判・国籍差別・歴史認識』（創史社）など。

講 義⑥ マイクロアグレッションの視点から考える在日朝鮮人差別

^{パク リ ミョン}
講 師 朴 利 明 さん (マイクロアグレッション研究会、在日朝鮮人人権協会)

「差別は時にあからさまな形ではなく、無意識的に見えにくい形で行われ、それが重大な結果をもたらしている」。これは「マイクロアグレッション」といい、昨今注目されています。在日コリアンにとってのマイクロアグレッションは何か、本研究に取り組む朴利明さんに、ご自身の経験を通じてお話しいたします。

【プロフィール】

1984 年生、在日朝鮮人 3 世。大学生のときに民族団体で活動を始め朝鮮名を名乗り始める。移行、幅広く社会運動に関わりつつ、現在はマイクロアグレッション研究会、在日朝鮮人人権協会員として発信を続ける。

講 義⑦ 「元徴用工」・「元従軍慰安婦」問題を正しく理解する

講 師 ^{あ べ こう き}阿部 浩己さん（明治学院大学国際学部国際学科・教授）

日本と韓国との懸案事項に歴史認識の問題が大きくあり、近年は元徴用工や元従軍慰安婦」問題で対立が続いています。韓国は政権が交代し、日本との友好を強調。しかし被害者たちの心中ははかりしれません。改めてこの歴史問題を正しく理解し、真の日韓友好関係を築くためにはどうすればいいのかを、阿部先生よりお話しいただきます。

【プロフィール】

東京都大島町生まれ。早稲田大学大学院法学研究科博士課程単位取得満期退学。その後渡米しバージニアロースクールで法学修士号を取得後、カナダのヨーク大学難民研究センターの客員教授を務める。富山国際大学人文学部専任講師、神奈川大学法学部教授を経て、2018年より明治学院大学国際学部教授。専門は国際法、国際人権法、国際難民法、平和研究。

【第3期講座】（3/10）

講 義⑧ フィールドワーク

テーマ 「武蔵野周辺の日本と朝鮮一渡来人・強制連行」

案 内 浅川地下壕を保存する会

【訪 問 先】（予定）

①深大寺（東京都調布市）

渡来人の子孫が開山したとされています。本尊の釈迦如来像は百済様式の金銅仏。また有名な「深大寺そば」も渡来人伝来と言われています。

②浅川地下壕（東京都八王子市）

戦時中、高尾駅南にある金比羅山地下に陸軍浅川倉庫として掘られていた巨大な地下壕。7000名近くの朝鮮人労働者が従事していたとされています。

【スケジュール】

8／4（木）	8／5（金）	10／28（金）	3／10（金）
9:30 受付開始	13:00 受付開始	9:30 受付開始	後日お知らせします
9:55 開 会	13:30 講義④	9:55 開 会	
10:00 講義①	16:45 終 了	10:00 講義⑤	
11:50 昼 食		11:50 昼 食	
13:00 講義②		13:00 講義⑥	
14:50 休 憩		14:50 休 憩	
15:00 講義③		15:00 講義⑦	
16:50 終 了		16:50 終 了	

第24回 在日コリアン人権啓発東京セミナー

受講（聴講）申込書

（FAX 06-6717-2702）

☐ 受講（7講義とフィールドワークすべて受講される方です）

☐ 聴講（聴講希望講義番号 ）

*聴講希望の場合は、講義番号をご記入下さい。例えば、宋先生の講義のみ聴講したい場合は①、フィールドワークの場合は⑧複数の場合は①②④⑥とご記入下さい。

講義①	「在日コリアンは平和の使者である」宋富子さん
講義②	「『無国籍』問題から国籍について考える」陳天璽さん
講義③	「民族差別と排外に抗して－兵庫人権協会の闘い」孫敏男さん
講義④	ドキュメンタリーの上映とトーク「ウトロ家族街」
講義⑤	「戦後日本の在日外国人政策」田中宏さん
講義⑥	「マイクロアグレッションの視点から考える在日朝鮮人差別」朴利明さん
講義⑦	「元徴用工・元従軍慰安婦問題を正しく理解する」阿部浩己さん
講義⑧	フィールドワーク

フリガナ			
受講者		勤務先名 担当部署	
住所 電話 FAX	〒 TEL FAX		

*複数名参加の場合は下記に受講（聴講）者名と担当部署をご記入ください。

受講（聴講）者名	担当部署	受講・聴講
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 ）
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 ）
		☐ 受講 ☐ 聴講（番号 ）

*8/4（木）講義終了後の交流会

☐ 参加 お名前（ ）

【連絡先】

一般社団法人在日コリアン・マイノリティー人権研究センター
 担 当 高敬一（コ・キョンイル）まで
 〒544-0033 大阪府大阪市生野区中川西3-10-18
 TEL06-6717-2701 FAX06-6717-2702
 e-mail : kmj@star.odn.ne.jp URL : http://kmjweb.com